

問14

小中一貫校の開校準備についてアンケート結果は

答

計画的に準備している

小川智也議員



小中一貫校の制服の導入、学校名についてのアンケートの結果の報告を。

池添修一教育長

制服の導入は、回答者64人中、私服が49人で77%、制服が14人で22%、どちらでも良いが1人で1%でした。

学校名は募集要項を作成し各世帯に配布し、選考委員会でも案を決定し、教育委員会に諮る予定だ。

問15

オンライン授業対応の進捗は費用無償化の検討を

答

再度検討する

小川智也議員

コロナ禍で教育を止めないために、早期にオンライン授業ができる体制が必要だ。家庭側と学校側の受け入れ体制はこうなっているのか。

池添修一教育長

学校側は小中の先生を対

象に研修会を実施する計画で、家庭側はタブレットの早期確保を行い、モバイルルーターの貸出等を検討している。

小川智也議員

オンライン授業を導入した場合、ネット回線費用が発生する。タブレットを無

問16

答

コミュニティ・スクールの設置は未来ある大豊町に繋がる結論を早急に出す

小川智也議員

コミュニティ・スクールの設立により、学校を核とした地域コミュニティを確立すれば、地域の活性化や課題解決に結びつくと思う。重要となる協議会のメ

池添修一教育長

支援ができるよう再度検討する。

ンバーをどう考えているのか。

池添修一教育長

人選まで具体的に詰めていないが、基本的には有識者、PTA会長、区長協議会長等を考えている。正に

問17

答

おおとよ小学校の今後は施設等をどうするのか協議をして決めていく

小川智也議員

現おおとよ小学校の今後について、校舎、遊具施設、記念樹等はこうするのか。

池添修一教育長

教育施設としては利用しないが、敷地が借地なので、今後は地権者等と協議して決めていく。

コミュニティ・スクールは地域と共にある学校づくりと学校を核とした地域づくりの実現が目的なので、早期に設置したいと考えている。

小川智也議員

地域に情報を発信し、学校に興味を持ってもらい、1人でも多くの方に参加してもらうことがポイントとなる。地域や子どもたちの意見を聴いて、「本町オリジナルの教育方針」を示してほしい。



問18

答

今後の大豊町政を問う現状を考え続投できないか考えは変わらない

佐藤徳治議員



4期16年に亘る町政を振り返ったの総括と手応え、感想を聞く。

岩崎憲郎町長

総括をする時期ではないが、就任以来今日までの多くの皆様に支えられながら、一生懸命取り組むことができた。感謝の気持ちしかない。

佐藤徳治議員

本町の行政について今後の課題と対策、展望を問う。

岩崎憲郎町長

各分野に課題はある。常に住民の皆様と共に一生懸命取り組むことが町政であ

り、その積み重ねが地域の将来を築いていくと思う。高齢化が進む状況でも、元気な町としての価値を見いだす取り組みを続けることが必要と思う。

佐藤徳治議員

先の引退表明の答弁から半年が経過したが、次期町長選に出馬の意向を表明する者はいまだ現れていない。この状況に至っても心境の変化はないのか。

岩崎憲郎町長

現時点では3月の答弁と同じ考えである。

佐藤徳治議員

この異常事態が、この先も続くような状況でも決心は変わらないのか。

岩崎憲郎町長

想定のもののお答えは、今の段階では差し控える



令和元年度各種会計歳入歳出決算認定（認定・全員）

令和元年度の一般会計、特別会計歳入歳出決算書、付属書類等及び基金の運用状況を示す書類等が、法令に準拠して処理されているか、予算執行が適正であるかどうかについて、関係諸帳簿等の照合を行うとともに、必要に応じて関係職員の説明を求める方法により審査した結果、いずれも正確で適正に処理されているものと認めた。



決算審査報告

